

1 復旧の概要

県では、東日本大震災による被災状況を踏まえ、次の考え方で大川・気仙沼港（商港）災害復旧事業を進めてまいります。

- ①堤防の高さ：**最高でT.P.+7.2m**
（数十年～百数十年程度の頻度で発生する津波に耐えられる高さで復旧します。）
- ②復旧の範囲：大川は、河口から第2大川橋梁（JR）までの約2,100mの区間。
気仙沼港（商港）は、約1,600mの区間。
- ③堤防の形：それぞれ下の図を基本的な形としますが、**まちづくりの状況なども**踏まえて決定します。

2 測量調査について

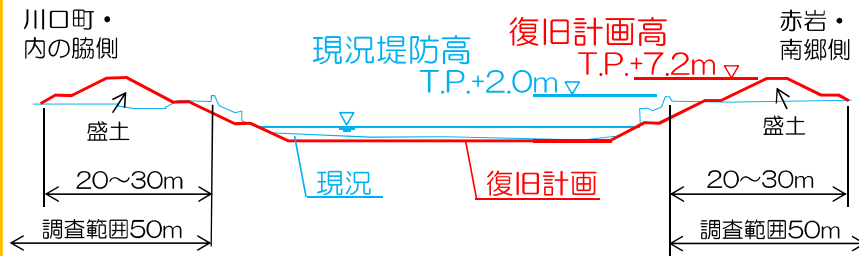
大川・気仙沼港（商港）の復旧工事に先立ち、現地の測量調査を次のとおり実施いたします。

- ①調査範囲：右図の赤の範囲
- ②調査期間：平成24年4月から10月ごろまで
- ③調査内容：測量・地質調査（ボーリング）

※調査員は身分証明書を携帯しております。
ボーリング調査の際は個別にご連絡いたします。

大川断面図

※上流側から下流を見ている図です

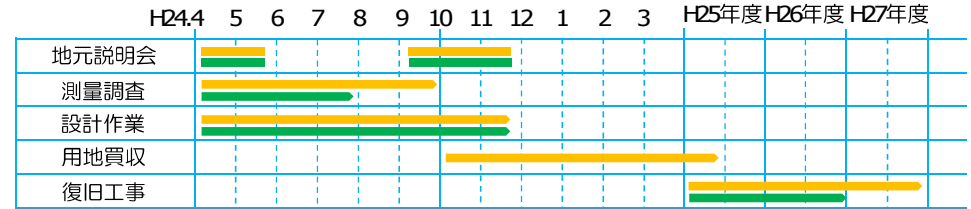


お問い合わせ先

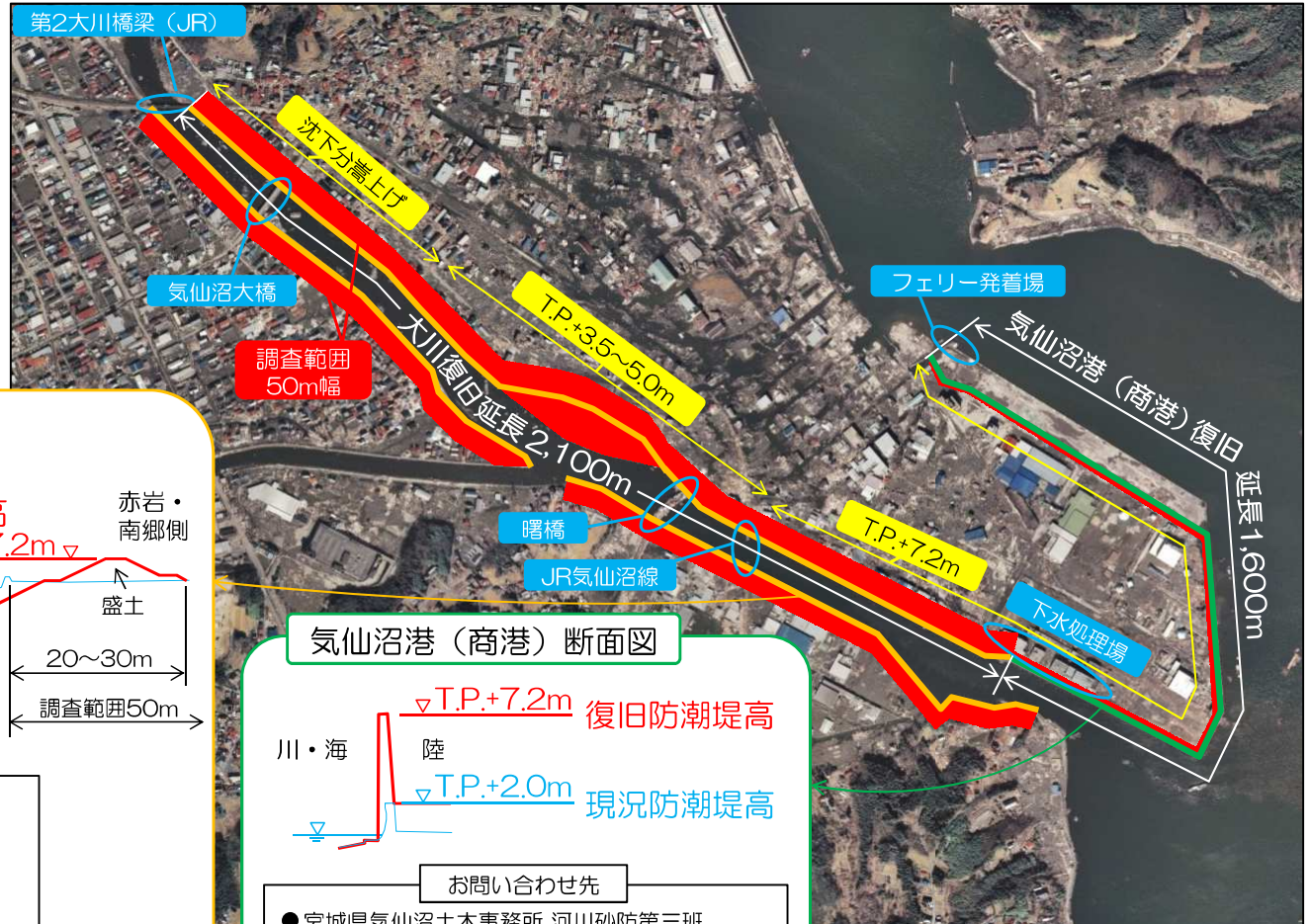
- 宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第一班
担当者：千葉 0226-24-2564
- 調査設計会社：いであ（株）
担当者：片桐 022-263-6788
- 用地測量会社：（株）北振技研
担当者：及川 0220-22-2764

3 今後のスケジュール

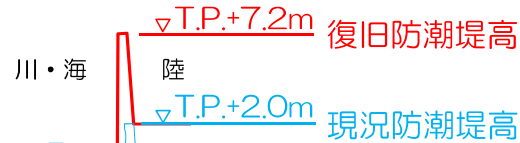
被災市街地復興推進地域内の復興事業の進捗状況によりスケジュールが変わる可能性があります。



■ は大川， ■ は気仙沼港（商港）の復旧スケジュールです。



気仙沼港（商港）断面図



お問い合わせ先

- 宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第三班
担当者：及川 0226-24-3270
- 調査設計会社：（株）ダイヤコンサルタント
担当者：竹内 048-654-1801

【空中写真は国土地理院提供】